

八幡平市

希望に満ちた1096の瞳、入学式を迎える



新入生を代表して誓いの言葉を述べる藤原寛君（写真手前中央）。新しい制服に身を包み、中学校生活をスタートさせました（松尾中）

八幡平市立として初めての入学式は4月5、6、7日、市内小・中学校でそれぞれ行われました。今年の市内新入生は、小学校12校で275人、中学校5校で273人です。
安代小学校では6日午前、新入生23人が父母と一緒に元気よく初登校。式では、担任の先生から新入生の名前が呼ばれると、「ハイ」と大きな返事が体育館にこだましました。
在校生を代表して荒川優里さん（6年）が「安代小に早く慣れて楽しく過ごしましょう」と優しい声を掛けました。
松尾中学校では6日午後、入学式が行われ、男子21人、女子25人が同校の門を初めてくぐりました。新入生を代表して藤原寛君が「先輩や新しい仲間と一緒に、松尾中の伝統



名前を呼ばれると元気よく「ハイッ」と返事をして起立する新入生（安代小）

を引き継ぎ、継承したい」と誓いの言葉を述べました。
大更小学校では7日午前、新入生75人が、真新しいランドセルを背負って登校。式では、光井文行校長が「学校では楽しいこと、親切、失敗もたくさんして、成長してください」と新入生に話し掛けました。



交通安全の黄色い帽子が贈られました（大更小）

市の特産品と地酒を堪能し、ほろ酔い気分

地元食材を使った料理と地酒を楽しむ「地産地消20006 郷土の新酒と食のゆづり」は3月25日、岩手山焼走り国際交流村で開かれました。
この催しは、コスモプラザ西根（社長・田村正彦市長）が開催し、今回で5回目。約180人の市民が参加して、市自慢の日本酒や郷土料理などを味わいました。
会場では、マジックショーや利き酒大会も開かれ、楽しいひとときを過ごしました。



所狭しと並べられた郷土料理を味わう参加者の皆さん

11時間20分で松尾から盛岡間を寄り切る



盛岡駅を目指し、元気よく道の駅にしねを通過する一行

1年間の基礎体力づくりの成果を試そうと松尾相撲スポーツ少年団は3月25日、卒業記念チャレンジウォークを行いました。
一行は、小学生の団員6人と父兄や指導者など大人6人JR花輪線松尾八幡平駅から約40キロ先の盛岡駅を目指しました。工藤鳳馬君と高橋亮君（ともに松野小6年・当時）は「前回より楽に歩ける。体力に自信がついた」と約11時間で、盛岡駅まで踏破しました。